



農協運営委員会 道外視察研修を行いました！



1月17～19日、農協運営委員会（委員長：西元道啓さん）の道外視察研修を行いましたので、ご報告致します。

【担当：佐々木（康）】

シブヤ精機(株)

シブヤ精機(株)は、平成20年に設立した農業用選果・選別システム等のメーカーであり、選果・選別システムといった農業関連機器、製缶包装システムといった自動化・省人化のための機器等の製造を手掛けている総合選果機メーカーです。

この度の視察では、人材不足解消や選別作業の省力化に向けて、他JAの選果施設において導入されているAI（人工知能）選別の概要や現状等の説明を受けました。また、シブヤ精機(株)を始め、全国のJAと連携して事業を展開している(株)AGRI SMILEから、地球

温暖化対策に有効となる農業生産資材やデータ解析システム等について説明を受けました。

AI選別機から各生産者の詳細なデータ確認が可能となっており、AIはあくまでも道具であるため、使いこなすためにはAIに学習させることが重要となります。

(株)AGRI SMILEでは、選果場から出された残渣を用いて作物に有効な生産資材に変えて圃場に還元するための技術開発を積極的に行っており、委員から開発者や担当者への積極的な質疑応答が行われました。



シブヤ精機(株)、(株)AGRI SMILEの皆様ありがとうございました！



AI選別機など今後役立つ内容を学びました！

JAみっかび柑橘選果場

JAみっかび柑橘選果場は、ブランド価値向上やスマート農業の確立、生産者の負担軽減等を目指して、令和3年10月に完成した国内最大規模のAI技術を用いた選果場です。

この度の視察では、最先端技術を駆使した同選果場の概要や、実際の選果現場を視察しました。同選果

場の建設により、従来に比べ家庭選果が4割削減され省力化した分、生産量の維持や品質向上が図られただけでなく、全自動パレタイズを採用するなど流通の負担軽減にも考慮されています。委員からは、導入されている選別機や選別システムについて質問がなされるなど、活発な意見交換が行われました。



JAみっかび柑橘選果場を見学しました！



選果場の概要等について説明を受けました！

セントライ青果(株)

セントライ青果(株)は、平成28年10月に設立され、現在では全国中央卸売市場の青果卸売業者として中部地区1位、全国でも3位の取扱高を誇り、確固たる地位を得ています。

この度の視察では、現在の各産地の状況や消費動



当産地以外の状況について説明を受けました!

向、今後の展望などの説明を受け、市場内で他産地の品質確認も実施しました。

委員からは、これからの馬鈴薯の販売についての要望が出されるなど、活発な意見交換が行われました。



作物の品質確認を行いました!

食用馬鈴薯生産組合 道外視察研修を行いました!



1月10～12日、JAようてい食用馬鈴薯生産組合（組合長：森和也さん）は、東京方面にて令和元年度ぶりとなる道外視察研修を行い、生産者13名、職員6名、関係機関1名が参加しました。

1日目は多摩青果(株)、JA全農青果センター（戸田）、東京青果(株)の3市場において、ようてい産を含む各地の馬鈴薯の品質状況調査を行いました。

2日目には市場を含めた販売協議会を実施し、西日本における馬鈴薯の状況や野菜全般の価格情勢等について説明を受け、今後のようてい産青果物の取引維持・拡大に向け活発な協議を行いました。

今後の販売に向けた展望等の意見交換も行き、令和5年産の継続販売及び令和6年産に繋がる有意義な視察となりました。 【担当：渡邊】



JA全農青果センター（戸田）



多摩青果(株)



東京青果(株)



販売協議会の様子